

決議（案）第1号

小池百合子都知事の関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式典への追悼文不送付に抗議する決議

上記の決議（案）を別紙のとおり提出する。

令和6年9月30日

三鷹市議会議長 伊藤俊明様

提出者	三鷹市議会議員	前田まい
賛成者	〃	野村羊子

小池百合子都知事の関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式典への追悼文不送付に抗議する決議

関東大震災から101年となる9月1日、東京都の小池知事は、関東大震災直後に虐殺された朝鮮人犠牲者らを追悼する式典に追悼文を送らなかった。

これまでの歴代都知事は式典に追悼文を送ってきたが、小池氏は知事に就任した2016年は送付したものの、翌年からは取りやめ、不送付は8年連続となった。

小池知事は、8月23日の記者会見で、追悼文を出さない理由について「東京都の慰霊堂で開かれる大法要で、震災による極度の混乱下での事情で犠牲となった方も含めて、全ての方々に対して慰霊する気持ちを表している」と、これまでの主張を繰り返した。しかし、朝鮮人犠牲者追悼式典は、人の手によって命を奪われた朝鮮人犠牲者を追悼し、二度と同じ過ちを起こさないことを誓い合う式典であり、大地震による自然災害で命を失った被災者への追悼とは意味が異なり、一くりにできるものではない。また、小池知事は、「何が明白な事実かについては歴史家がひもとくもの」「様々な研究がある」などと述べ、大震災での朝鮮人虐殺を事実として認めない姿勢を示している。

しかし、朝鮮人虐殺は動かしようのない歴史事実である。大震災の発生直後から、朝鮮人が暴動を起こす、井戸に毒を投げ入れたなどといった流言飛語が広がり、軍や警察、自警団が集団虐殺を行ったことを示す公的資料は数多く存在している。政府の中央防災会議の「災害教訓の継承に関する専門調査会」は、2009年に関東大震災に関する報告書を公表し、「朝鮮人が武装蜂起し、あるいは放火するといった流言を背景に、住民の自警団や軍隊、警察の一部による殺傷事件が生じた」「武器を持った多数者が非武装の少数者に暴行を加えたあげくに殺害するという虐殺という表現が妥当する例が多かった」と明確に認定している。東京都も、1972年発行の「東京百年史」において、朝鮮人虐殺事件を「東京の歴史の拭うことのできない汚点」とし、震災50年の1973年、市民や都議会各会派の幹事長も参加して横網町公園に追悼碑を建立した経緯がある。

小池知事の追悼文送付中止という姿勢は、史実を黙殺し、虐殺の被害者をおとしめ、歴史修正や民族差別を助長するものであり、東京都並びに都民を代表する知事として全くふさわしくない行為であると厳しく指摘するものである。

また、現在、他民族や外国籍の人々へのヘイト行為が重大問題となる中、小池知事による追悼文送付中止以来、史実をゆがめ他民族を冒瀆する団体が、追悼式典と同時刻に、隣接した場所でヘイト集会を開催するようになった。こうした事態を招いた小池知事の責任は重大である。知事として史実に向き合い、差別と暴力を否定する真摯な姿勢、ヘイト行為を許さないという毅然とした態度が求められる。

よって、本市議会は、小池百合子東京都知事に対し、9月1日の関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式典に追悼文を送付しなかったことに強く抗議し、今後は誠実に史実

に向き合い、追悼文の送付を再開することを求める。

上記、決議する。

令和6年9月30日

三 鷹 市 議 会